

恵那市農業委員会だより

ええのお



恵那市公式
キャラクター
エーナ

第2号

【編集・発行】

平成28年8月

恵那市農業委員会

恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎0573-26-2111

中日新聞社賞 「権現山と夏雲」 大矢信吾



中野方町坂折棚田

日本棚田百選のひとつ坂折棚田は、恵那の北部中野方町に位置し、霊峰笠置山と権現山に見守られながら、その美しい風景を今に伝えていきます。四百年の昔、八百津町から来た忠左衛門と長兵衛の兄弟によって棚田の基礎ができました。その後、江戸後期頃、黒鍬衆と呼ばれる石工たちの手によって、石積みの棚田が完成しました。現在は、保存会の努力により、石積みを含めた田直しをしながら、次の世代へと引き継がれています。

平成二十八年三月「坂折棚田なごみの家」がオープンしました。

四季を通してその表情を変える棚田の景色と自然の美しさを求めて、多くの人々が訪れています。恵那市の財産として又、環境保全の面からも大切に守って行きたいと考えています。

Contents 目次

視察研修	2
頑張る農業者「ええのお」	2
家族経営協定調印式	3
農業者年金加入者紹介	3
情報提供・おやつレシピ	4
編集後記	4

先に向かう、農業委員会視察研修

農業委員会 職務代理 安江 昌俊

日本の農業の七割が中山間地といわれ、厳しい農業経営環境の中で抱える課題の多くは共通しており、担い手不足、農業従事者の高齢化、後継者の減少による遊休農地、耕作放棄地の増加は緊急課題です。そこで、対策に取り組む先進地視察を今年一月に岐阜県農業会議の紹介で石川県七尾市農業委員会と意見交換会を実施しました。

七尾市に到着しての第一印象は、海と農地が隣り合わせで、山は低く農地の段差も少なく、恵那とは地域環境が大きく異なることでした。能登と聞けば観光地のイメージが浮かびますが、見る限り山間地にある静かな観光地と言う印象を受けました。環境は異なっても相互の課題は共通しており、意見交換会での七尾市農業委員会の取り組みと成果の一部をご紹介します。

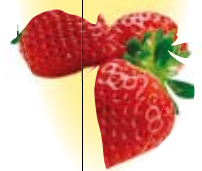
1. 担い手不足対策には能登島において移住者の新規就農者の受け入れ
 2. 農業従事者の高齢化、後継者の減少、耕作放棄地増加対策には、里山と里海の有効的な環境保全型農業、認定農業者の育成、集落営農推進、農地利用集積推進の取り組み
 3. 高付加価値の農法、多品目野菜の生産と女性が発芽野菜・切花を栽培する経営体などの育成
 4. 課題は、「里山里海再生委員会」と連携のもと担い手不足、耕作放棄地の解消
- 今回の研修で観点をかえて工夫することで、地域振興が図られることを学び一言、「恵那の豊かな自然に恵まれた環境で、景観保全型農業に取り組むことが創生農業の道。」



頑張る農業者

ええのお

岐阜県の「あすなる農業塾」制度を利用してがんばっている農業者たちの紹介です。



新規就農予定者 春日井 淳也（山岡町田沢）

私は小さな頃から祖父や父の米作りを行う姿を見て育ちました。高校でジャム作りのため長野県へいちご狩りに行き、みんな笑顔でいちごを食べていました。その姿を見て、いちごの勉強をしたいと思いました。

農業大学校に入学した私は、いちごに魅了されると同時に、農業で生活していく難しさを知り就農する道をあきらめました。ですが、農家になれなくても、今努力されている農家さんのため、学んで来た技術を生かしたいと思い、東美濃農業協同組合に入組しました。

東美濃農業協同組合で、地元農業の現状と農業を仕事にする楽しさ、そして様々な人たちと繋がりを持つことができ、多くのことを学びました。在籍期間は短かったですが、新規就農へのサポート体制を学び、改めて農業を始めたいと思い、工場に勤めて就農資金を貯め、現在岩村の原農園にて研修をしています。

将来は、道の駅やJA出荷を中心に、いちご狩りやインターネットを使った広告活動を予定しています。



この制度についてのお問い合わせ

岐阜県農政部農業経営課担い手対策室就農支援係

TEL.058-272-8421 (電話対応時間は平日の午前8時30分～午後5時15分です。)

ホームページ <http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo-koyo/nogyo/gifusyunonavi/>

家族経営協定調印式が行われました

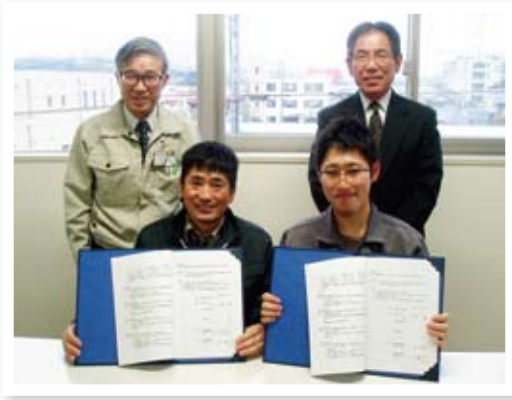
四月十三日に恵那市役所で家族経営協定調印式を行いました。

家族経営協定は、家族全員が意欲とやりがいを持って農業経営に参画できるように、経営目標や役割分担、就業条件などについて話し合い、その内容を協定書として書面化するものです。

今回は、長島町の民田農園の経営者、千博さんと後継者の裕一さん親子が協定を結びました。

千博さんは、『六十歳になったら、息子に経営を移譲しようと思っている。あと六年間で、経営の拡大・農業のノウハウ等、色々伝えていきたい。』と語っていました。

裕一さんは、『昨年就農する前は、工場に勤めていました。後継者として一緒に農業を始めて一年、苗が稲になり、お米へと成長していく過程は、とても楽しい!! やりがいがある!!』と、意気込みを語ってくれました。



調印式に立ち会った、農業委員の森川さんは、『これからの恵那の農業を担っていくように頑張ってください。』と激励しました。

この後、認定農業者である千博さんと家族経営協定を結んだことよって、裕一さんは国の政策支援を受けて農業者年金に加入されました。

裕一さんの将来のため、『何か年金に加入する必要があると考えていた時でしたので、本人も含め喜んでいました。』と喜びの声をいただきました。

農業者年金

加入者の声

農業者年金加入推進部長 西尾 ひろみ

我が家では、農業者年金に三人加入しています。娘は就農後、家族経営協定を締結し国の政策支援を受け加入中です。

夫は受給を待っている期間中で、今まで掛けてきた金額に運用益がプラスされていていくので、今から受け取るのを楽しみにしています。

農業者年金の魅力は、支払った保険料の全額社会保険料控除など税制面の優遇措置があり、また、自ら積み立てた保険料を受け取れる【積立方式】なので安心です。

私は加入する時に、六十歳までの積立目標を決めました。老後の備えをしたことで安心して仕事に取り組みことができるようになりました。

農業者年金研修を受けるまで、制度についての説明や、加入を勧められたことはありませんでした。私のように知らなかったという人がないように、農業者年金制度を知らせていくことが大切だと思います。

毎月保険料を払うのは大変かもしれませんが、農業者が安定した老後生活を送れるよう若いうちからの備えは大切です。ぜひ、若い農業者、女性農業者にも終身年金で、老後の生活費に充てられる農業者年金に加入してほしいです。



特産品で、夏のおやつづくり

梅絞り寒天

梅肉入りの甘酸っぱい寒天をラップと輪ゴムで包んで固めて
駄菓子気分♪



【材料(5人分)】

- 粉寒天……3g
- 梅肉……小さじ2
- 寒天用……水320cc
砂糖大さじ20g
- 梅肉用……水大さじ1
砂糖大さじ1.5

【作り方】

- 鍋に水320ccと粉寒天を入れて中火にかける。かき混ぜながら煮溶かし、2分位沸騰させる。
砂糖20gを加えて煮溶かす。
- 梅肉は包丁で細かくたたき耐熱容器に入れ、砂糖大さじ1.5、水大さじ1を加える。
ラップをかけ、電子レンジ(500w)に30秒かけたら、①に加えてよく混ぜる。
- 小さな器に30cm角位に切ったラップを敷き、粗熱を取った②を約大さじ3入れて包み、輪ゴムで留める。冷蔵庫に入れて冷やし固める。

トマトジェラート

優しい甘さですっきりあと味、前菜や食後のデザートにも
合うおしゃれな
ジェラート♪



【材料(5人分)】

- 完熟トマト…2個
- 生クリーム…50~70cc
※植物性がオススメ
- はちみつ……大さじ3~4

【作り方】

- トマトはヘタを取って冷凍しておく。
水をかけて皮を剥き、2cm程度の角切りにする。
- ①と生クリーム、はちみつをフードプロセッサーにかけてなめらかにする。
甘さははちみつで調整する。
- 2時間ほど冷凍室で冷やす。

★小さじ1 = 5cc 大さじ1 = 15cc

※伝えたい・残したい 恵那の味“恵那ばあちゃんの手料理帖”を参照しました。
ご希望の方は、市役所3階 農林課の窓口にて無料配布しています。

県農業委員会活動優良表彰

平成二十六年に恵那農業高校と協力して、約二十aの遊休農地を再生した事が、『平成二十七年農業委員会活動優良表彰「農地保全部門」』で表彰されることになりました。

恵那農業高校園芸科学科では、「耕作放棄地の活用について」をテーマに、農地の取得から活用まで一貫して取り組むと、数年前から市農業委員会と協議を重ねてきました。生徒たちの手で作業が行われ、再生した農地は、周年を通じて生徒が野菜作りに取り組み、有効活用しています。

八月三十一日に開催される『平成二十八年度農業委員・農地利用最適化推進委員大会』で表彰される予定です。



耕作放棄地現況



解消作業

農業委員会事務局からのお知らせ

農地利用状況調査の実施について

九月～十一月にかけて、農地利用状況調査を実施し、耕作放棄地や無断転用等の早期発見と防止に努めます。

調査員が、皆さんの農地に立ち入り調査をしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ…農業委員会事務局(内377)

中間管理事業を活用しましょう

農地中間管理機構(岐阜県農畜産公社)が受け皿となり、耕作を続けることが難しくなった農地を借り受け、営農組合等の担い手に、貸付を行う事業です。

耕作が困難な方は、ご相談ください。

問合せ…農林課(内374)

編集後記

一月の創刊号に続き、第二号の発行となりました。

農業委員会も法の改正で様々な局面を迎えております。『ええのお』では、そんな中でも頑張っておられる農家さんや身近な情報・話題を皆さまにお伝えしたいと編集しました。

皆さまからの情報もお待ちしています。是非、事務局までお知らせください。(O)

◆編集委員◆
西尾ひろみ 鈴木佳代子
梅本 信枝 三宅 伸子
大庭 脩代